

平成18年度に指定した飼料用トウモロコシ優良品種

【成果概要】

飼料用トウモロコシの極早生品種「おおぞら」、早生品種「ロイヤルデント110」は標準品種よりも収量性、耐病性に優れます。

表1 生育的特性、形態的特性および障害

早晩性	品種名	播種日からの日数(日)		かん長	着雌穂高	倒状割合(%)
		絹糸抽出期	黄熟期			
極早生	おおぞら	75	114	262	116	5.7
	KD417	70	116	261	97	3.0
	ディアHT(標準)	69	114	226	89	6.5
早生	ロイヤルデント110	77	119	267	131	23.7
	36B08(標準)	74	119	223	101	12.2

H15-17の平均値

表2 病害

早晩性	品種名	病害特性					
		スス紋(1-9)	コマ葉(1-9)	黒穂病(%)	根腐病(%)	紋枯病(%)	萎縮病(%)
極早生	おおぞら	1.7	1.4	3.9	2.9	3.9	0.1
	KD417	1.2	1.8	1.4	0.1	6.3	0.0
	ディアHT(標準)	1.8	1.5	0.3	0.1	5.1	0.0
早生	ロイヤルデント110	2.1	1.4	0.3	0.3	13.5	0.0
	36B08(標準)	1.0	1.0	1.5	0.0	14.8	0.0

H15-17の平均値

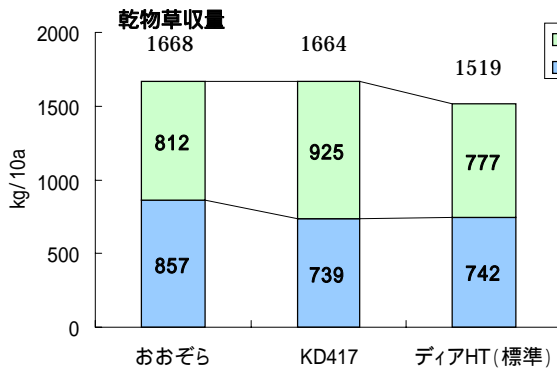


図1 極早生品種の収量性

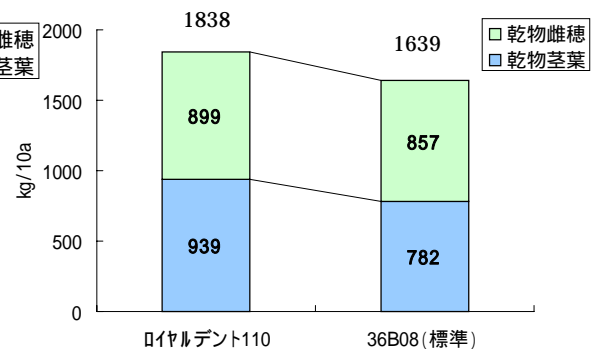


図2 早生品種の収量性

【留意事項】

10a あたり採植本数
 極早生品種 : 7500本 ~ 8000本
 早生品種 : 7000本

【適応地帯】

極早生品種 : 県下全域
 早生品種 : 標高 500m 以下の県下全域